

プログラム

11月8日（金）

8:55-9:00

開会の辞

大会長：松崎 秀夫（福井大学 子どものこころの発達研究センター）

 : 奨励賞対象

9:00-10:15

一般演題 1

座長：新津 富央（千葉大学 大学院医学研究院）

9:00-9:15



1-1

生成 AI によるサポートのもと、FreeSurfer を直感的に操作可能な Interface を作成した経緯について

○牧野 拓也^{1,2}、塩津 大地^{1,3}、小和田 航太郎¹、幅田 加以瑛¹、水野 有香¹、眞田 陸¹、神谷 拓^{1,4}、小坂 浩隆^{1,2}

¹福井大学 医学部精神医学

²大阪大学 大学院連合小児発達学研究所（福井校）

³鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 精神機能病学

⁴福井県立病院 こころの医療センター

9:15-9:30



1-2

自閉スペクトラム症の言語認知能力に関わる神経ネットワークの特異性

○李 敏¹、岩谷 祥子¹、平田 郁子¹、橘 雅弥¹、毛利 育子¹、平野 好幸²、水野 賀史³、下野 九理子¹

¹大阪大学 大学院連合小児発達学研究所（大阪校）

²千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター

³福井大学 子どものこころの発達研究センター

9:30-9:45



1-3

Executive Function in Obsessive-Compulsive Disorder and Resting State Functional Connectivity

○Nadire Aximu^{1,2}、和 俊冰^{2,3}、Siti Nurul Zuhara^{2,3}、清水 栄司^{1,2,3}、平野 好幸^{2,3}

¹千葉大学 大学院医学研究院 認知行動生理学

²千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター

³大阪大学 大学院連合小児発達学研究所

9:45-10:00



1-4

社交不安症における異常な脳活動：異なる低周波帯域に焦点を当てて

○和 俊冰^{1,2}、Nadire Aximu^{2,3}、清水 栄司^{1,2,3}、平野 好幸^{1,2}

¹大阪大学 大学院連合小児発達学研究所（千葉校）

²千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター

³千葉大学 大学院医学研究院 認知行動生理学

10:00-10:15



1-5

トラベリングサブジェクト法を用いた ADHD の脳構造の検討

○寿 秋露^{1,2}、山下 雅俊^{1,2}、平野 好幸^{2,3}、友田 明美^{1,2}、下野 九理子²、水野 賀史^{1,2}

¹福井大学 子どものこころの発達研究センター

²大阪大学 大学院連合小児発達学研究所

³千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター

座長：臼井 紀好（大阪大学 大学院医学系研究科）

10:25-10:40



2-1

腸内細菌叢移植は注意欠如多動症様モデルラットの多動性を改善し、注意欠如多動症関連脳領域におけるドーパミン量を増加させた○張替 若菜¹、三神 幹汰²、チョードリ エمامッサレヒン²、矢島 知里²、山内 大翔²、田中 潤也²、清水 真³、宮上 紀之⁴、久保 円⁴、永井 将弘⁴、片山 泰一¹¹大阪大学 大学院連合小児発達学研究所（大阪校）片山研究室²愛媛大学 医学研究科 分子細胞生理学講座³シンバイオシス株式会社⁴愛媛大学 医学研究科 臨床薬理学講座

10:40-10:55



2-2

自閉スペクトラム症関連分子 SERT は CRMP-2 を介して軸索輸送される○山ノ井 俊宏¹、吉村 武^{1,2}、田 小叶¹、岩田 圭子^{3,4}、松崎 秀夫³、片山 泰一¹¹大阪大学 大学院連合小児発達学研究所（大阪校）分子生物遺伝学研究領域²鳥取大学 医学部 保健学科 生体制御学講座³福井大学 子どものこころの発達研究センター 脳機能発達研究部門⁴和歌山県立医科大学 薬学部 薬品作用学研究室

10:55-11:10

2-3

GPR30 によるセロトニン神経系の調節を介した若年期卵巣摘出モデルマウスの行動変化○古川 恵^{1,2,3}、青木 亮憲^{1,2,3}、出雲 信夫^{4,5}、松崎 秀夫^{1,3}¹大阪大学 大学院連合小児発達学研究所（福井校）脳機能発達学²横浜薬科大学 薬学教育センター³福井大学 子どものこころの発達研究センター 脳機能発達研究部門⁴横浜薬科大学 薬物治療学研究室⁵横浜薬科大学 総合健康メディカル研究センター

11:10-11:25



2-4

Impaired lysosomal proteolytic capacity in developing neurons causes perturbed morphogenesis accompanied by accumulation of aggregated proteins○Yinping Zhou¹, Yuuki Fujiwara¹, Mai Shirazaki², Xiaoye Tian¹, Taiichi Katayama¹¹Department of Child Development and Molecular Brain Science, United Graduate School of Child Development, Osaka University²Department of Immunology and Cell Biology, Graduate School of Medicine and Frontier Biosciences, Osaka University

11:25-11:40



2-5

Investigating the relationship between phosphorylated tau level in Alzheimer's Disease brain with tau aggregates level in cellular model of tau propagation.○Faris Hazwan Nazar¹, Aslina Pahrudin Arrozi², Rabiatal Adawiyah Razali¹, Tomoko Kato¹, Daijiro Yanagisawa³, Ikuo Tooyama¹¹Medical Innovation Research Center, Shiga University of Medical Science²Department of Molecular Medicine, Faculty of Medicine, University Malaya³Molecular Neuroscience Research Center, Shiga University of Medical Science

11:40-11:55

総会

12:55-13:30

特別講演 1

座長：三邊 義雄（厚生連高岡病院／金沢大学精神科）

「子どもの好奇心・個性を守り、躍動的な社会を実現する挑戦」

菊知 充

（金沢大学 医薬保健研究域医学系 精神行動科学）

13:40-14:55

一般演題 3

座長：中村 和彦（弘前大学 大学院医学研究科）

13:40-13:55

3-1

Late Preterm 児における神経発達予後 -ABCD Study の大規模脳画像データを用いた検討-

○吉馴 亮子、山下 雅俊、水野 賀史、友田 明美

福井大学 子どものこころの発達研究センター

13:55-14:10

3-2

語用能力 - 行動問題関連と性差；TOPJC 粗点を用いた検討

○水谷 柳子¹、橋 雅弥²、平田 郁子²、中西 真理子²、毛利 育子²、下野 九理子²、槻館 尚武³、池田 尊司¹、大井 学¹

¹金沢大学 子どものこころの発達研究センター

²大阪大学 大学院連合小児発達学研究科

³山梨英和大学 人間文化学部

14:10-14:25

3-3

幼少期のマルトリートメント（CM）経験が母親の共感能力と育児スタイルに与える影響：世代間連鎖の理解

○川口 優子¹、倉田 佐和^{2,3}、Natasha Kawata^{3,4}、矢尾 明子^{3,4}、西谷 正太^{1,3,4}、藤澤 隆史^{1,3,4}、友田 明美^{1,2,3,4}

¹大阪大学 大学院連合小児発達学研究科（福井校）発達支援研究部門研究室

²福井大学附属病院 子どものこころ診療部

³福井大学 子どものこころの発達研究センター

⁴福井大学 ライフサイエンスイノベーションセンター

14:25-14:40

3-4

生後 18 か月の気質プロファイルは 8-9 歳での ASD, ADHD, それらの併存の予測因子である：HBC study

○津久井 伸明^{1,2,3}、土屋 賢治^{1,2}

¹大阪大学 大学院連合小児発達学研究科（浜松校）

²浜松医科大学 子どものこころの発達研究センター

³公益社団法人 子どもの発達科学研究所

14:40-14:55

3-5

統合失調症スペクトラム患者における抗精神病薬の海馬体積に与える影響：系統的文献検索とメタ解析

○金原 信久¹、木村 大²、小松 浩³、伊豫 雅臣^{4,5}

¹千葉大学 社会精神保健教育研究センター

²学而会 木村病院

³東北大学病院 精神科

⁴千葉大学 大学院医学研究院 精神医学

⁵国際医療福祉大学 大学院

15:05-16:45

シンポジウム

「学際的アプローチで解き明かす脳の機能・病態解明の最前線」

座長：國石 洋（福井大学 子どものこころの発達研究センター）

藤原 悠紀（大阪大学 大学院連合小児発達学研究所）

15:05-15:30

S-1

生体脳深部 2 光子イメージングと機械学習解析で紐解く恐怖記憶の制御基盤

揚妻 正和（量子生命科学研究所）

15:30-15:55

S-2

形の記憶：器官形成に必須な組織の機械特性

奥田 覚（金沢大学 ナノ生命科学研究所）

15:55-16:20

S-3

ストレスによる脳機能変容を担う代謝性機序について

永井 裕崇（神戸大学 大学院医学研究科 薬理学分野）

16:20-16:45

S-4

免疫システムの破綻による脳発達障害の病態形成機構

田辺 章悟（国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 神経薬理研究部）

16:50-17:25

特別講演 2

座長：鶴 紀子（宮崎大学／高宮病院）

「多様なドパミン神経系を制御する脳の仕組みを紐解く」

西 昭徳

（久留米大学 医学部薬理学講座）

11月9日(土)

9:00-10:00

一般演題 4

座長：板東 良雄（秋田大学 大学院医学系研究科）

9:00-9:15

4-1

自閉スペクトラム症における ZBTB16 遺伝子の機能解析

○土井 美幸^{1,2}、臼井 紀好^{1,2,3,4}、石野 早紀³、藤原 悠紀⁴、仲間 菜々子¹、片山 泰一⁴、島田 昌一^{1,2,4}

¹大阪大学 大学院医学系研究科 神経細胞生物学講座

²大阪精神医療センター こころの科学リサーチセンター 依存症ユニット

³大阪大学 最先端医療イノベーションセンター

⁴大阪大学 大学院連合小児発達学研究所

9:15-9:30

4-2

Gene X deficiency in adult mouse cerebellum drives neurocircuitry defect and social behavior impairment.

○Kyota Fujita¹, Chiharu Tsuji¹, Takashi Maejima², Jaehun Jung², Makoto Sato³, Haruhiro Higashida¹, and Shigeru Yokoyama¹

¹Department of Basic Research on Social Recognition and Memory, Research Centre for Child Mental Development, Kanazawa University; Department of Socioneurosciences, United Graduate School of Child Development, Osaka University, Kanazawa University, Hamamatsu University School of Medicine, Chiba University and University of Fukui, Kanazawa Campus, Japan. Kanazawa, Ishikawa, 920-8640, Japan.

²Department of Integrative Neurophysiology, Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa University, Kanazawa, Ishikawa, 920-8640, Japan

³Mathematical Neuroscience Unit, Institute for Frontier Science Initiative, Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa University, 13-1 Takaramachi, Kanazawa, Ishikawa, 920-8640, Japan

9:30-9:45

4-3

The Role of mitochondria dynamics in CNS cell differentiation

○Keiko Iwata¹, Hideo Matsuzaki², Masafumi Noguchi¹, Norihito Shintani¹

¹Laboratory of Pharmacology, School of Pharmaceutical Sciences, Wakayama Medical University.

²Research Center for Child Mental Development, University of Fukui

9:45-10:00

4-4

組織透明化を用いた脊髄損傷後の血管新生・リンパ管新生の解析

○若山 勇紀¹、Dinh Thi Phuong Hoai¹、佐藤 康二¹、山岸 覚²

¹浜松医科大学 医学部 器官組織解剖学講座

²浜松医科大学 光医学総合研究所 光神経解剖学分野

10:05-10:40

特別講演 3

座長：松崎 秀夫（福井大学 子どものこころの発達研究センター）

「デュシェンヌ型筋ジストロフィーマウスにおける症候性自閉スペクトラム症の病態と治療」

青木 吉嗣

（国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部）

10:50-11:35

一般演題 5

座長：金原 信久（千葉大学 社会精神保健教育研究センター）

10:50-11:05

5-1

メンタル不調の未病者（閾値下不眠、閾値下パニック、閾値下うつ）のためのメンタルトレーニング（メントレ）ウェブアプリの価格感度分析（Price Sensitivity Measurement：PSM）

○川上 寿郎¹、田口 佳代子²、三好 未来^{1,3}、関 陽一²、清水 栄司^{1,2,3}

¹千葉大学 大学院医学研究院 認知行動生理学

²千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター

³千葉大学 医学部附属病院 認知行動療法センター

11:05-11:20

5-2

多発家系に注目した双極性障害（躁うつ病）の分子病態研究

○高松 岳矢^{1,2}、馬目 陽子⁵、金城 薫子¹、當山 奏子^{1,4}、赤嶺 裕子¹、柳 久美子⁶、Dimitar Dimitrov⁷、高鳥 光徳¹、日野 未百莉¹、李 俊錫^{1,4}、小金淵 佳江³、長谷川 実奈美⁵、早川 朋子¹、高橋 智幸⁷、近藤 毅²、要 匡⁶、岡野 ジェイムス 洋尚⁵、木村 亮介³、松下 正之¹

¹琉球大学 大学院医学研究科 分子・細胞生理学講座

²精神病態医学講座

³人体解剖学講座

⁴琉球大学 医学部 先端医学研究センター

⁵東京慈恵会医科大学 再生医学研究部

⁶国立成育医療研究センター ゲノム医療研究部

⁷沖縄科学技術大学院大学 細胞分子シナプスユニット

11:20-11:35

5-3

認知行動療法に基づく不安予防プログラム「勇者の旅」eラーニング版の小学校での実施可能性

○大橋 将一^{1,2}、浦尾 悠子^{1,2}、藤原 和政³、小柴 孝子²、清水 栄司^{1,2}

¹大阪大学 大学院連合小児発達学研究所（千葉校）

²千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター

³兵庫教育大学 大学院学校教育研究科

11:40-11:55

奨励賞受賞者成果報告

座長：山岸 覚（浜松医科大学 光医学総合研究所）

「脳・神経系の恒常性維持に関わる新規細胞内分解経路の制御機構の探索」

第49回大会奨励賞受賞

藤原 悠紀（大阪大学 大学院連合小児発達学研究所）

11:55-12:00

閉会の辞

大会長：松崎 秀夫（福井大学 子どものこころの発達研究センター）

13:30-15:00

市民講座

座長：松崎 秀夫（福井大学 子どものこころの発達研究センター）

「福井から発信する健康長寿宣言！

～杉田玄白・石塚左玄の教えを脳と腸からひも解く～」

内藤 裕二（京都府立医科大学大学院）